



脚立の事故

脚立(三脚)使用の5つのポイント

- 1 設置時にトントンと脚を踏み込む**
最下段に乗って、体全体で脚立の脚を踏み込み、脚立を安定に設置する
- 2 天板に乗らない**
必要なら、より高い脚立を使用、樹高を低くする
- 3 開脚防止チェーンをかける**
チェーンが短い場合、紐などで延長する
- 4 昇降時に物を持たない工夫**
収穫物は、紐などで吊して降ろす
- 5 脚立から身を乗り出さない**
身を乗り出さず、こまめに脚立を移動、直近で作業できるように

1 脚立設置時に 最下段に乗り 踏み込む

事例

脚立から降りる際、設置した場所にモグラの穴があったのか、脚立の脚が土に潜り脚立から墜落。腰椎圧迫骨折。

設置の際
最下段に両足で乗り
トントンを!



2 天板に 乗らない

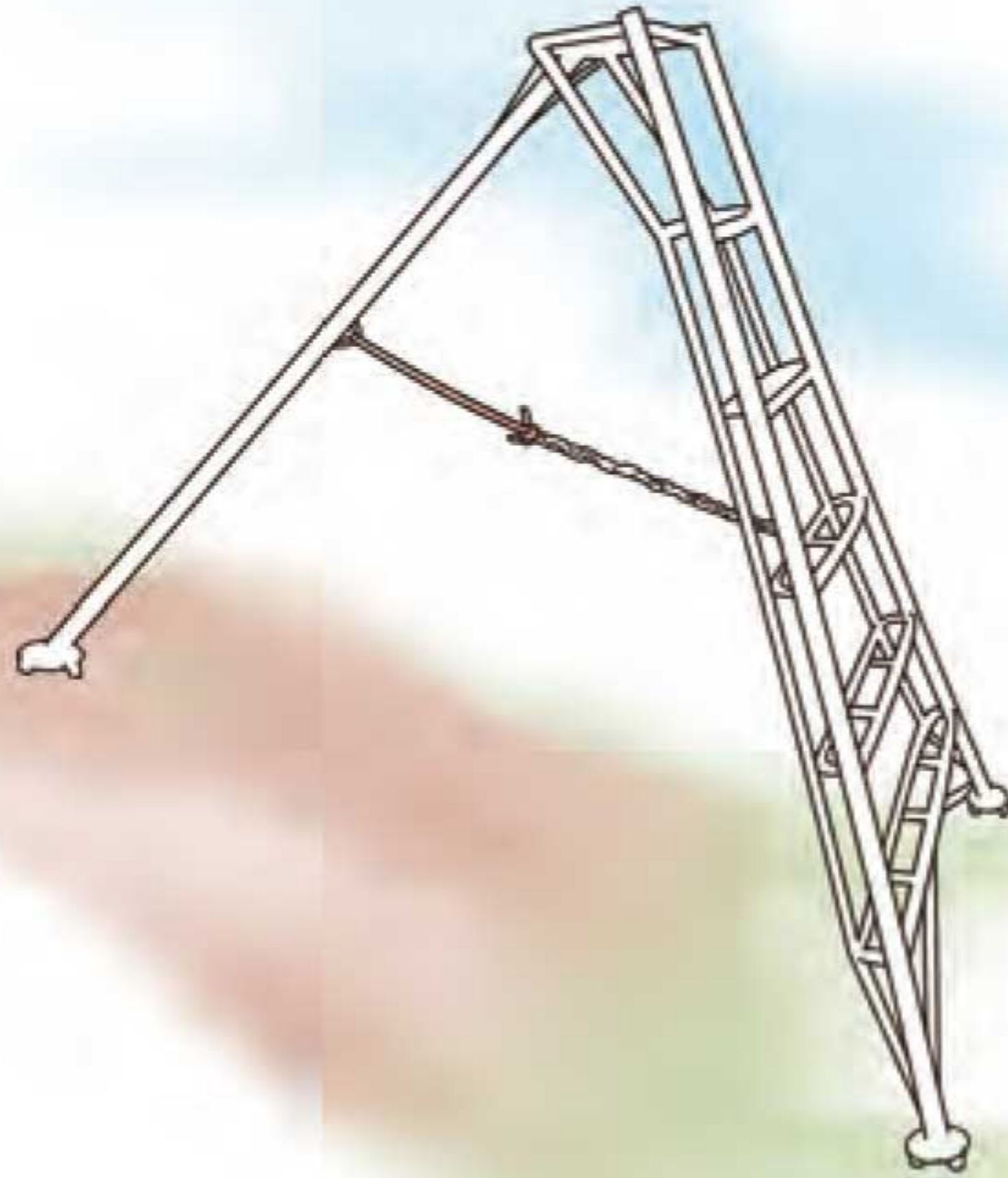
事例

みかん園でみかんを収穫中、9段の脚立(2.7m)の最上段の天板に乗っていて転倒、本人は脚立の上に転落。肋骨骨折。



3 開脚防止チェーンをかける

事例 段差のある園地で1本の脚を大きく開き、開脚防止チェーンがかけられず、そのまま柿収穫中、脚立の脚がズルッと滑り落下。腰椎圧迫骨折。



4 昇降時・作業中に物を持たない工夫を

事例 脚立の天板に乗ってプルーンを収穫、手に持った籠にプルーンが溜まって重くなり転落。下腿骨折。



かごをヒモで降ろすなど

5 脚立から身を乗り出さない

事例

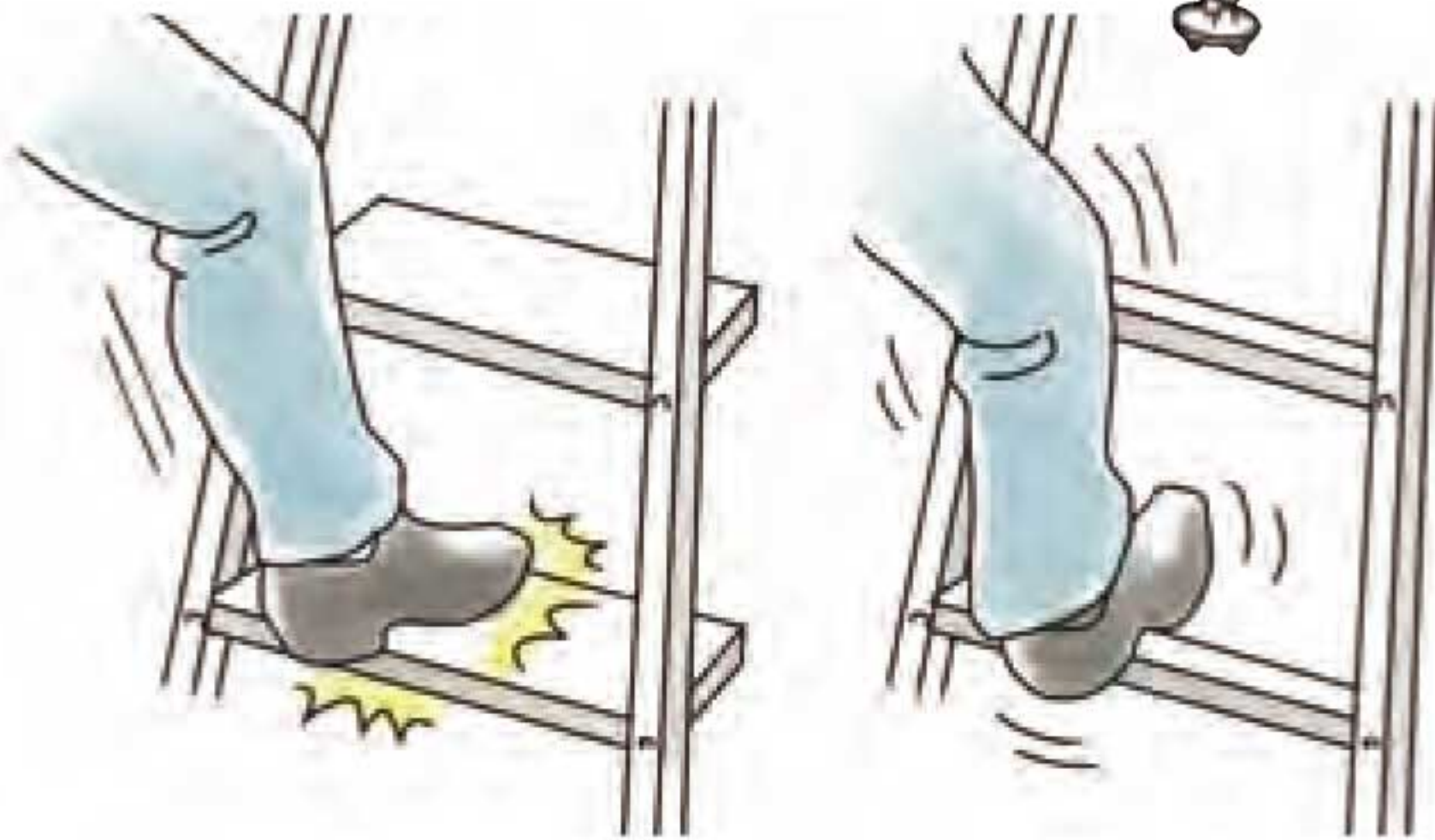
柿の実をとろうと脚立から身を乗り出し、3.8m下に落下。頸椎骨折、動脈損傷。

脚立を小まかめに動かし直上、直下で作業を！

三脚・脚立の選択のポイント

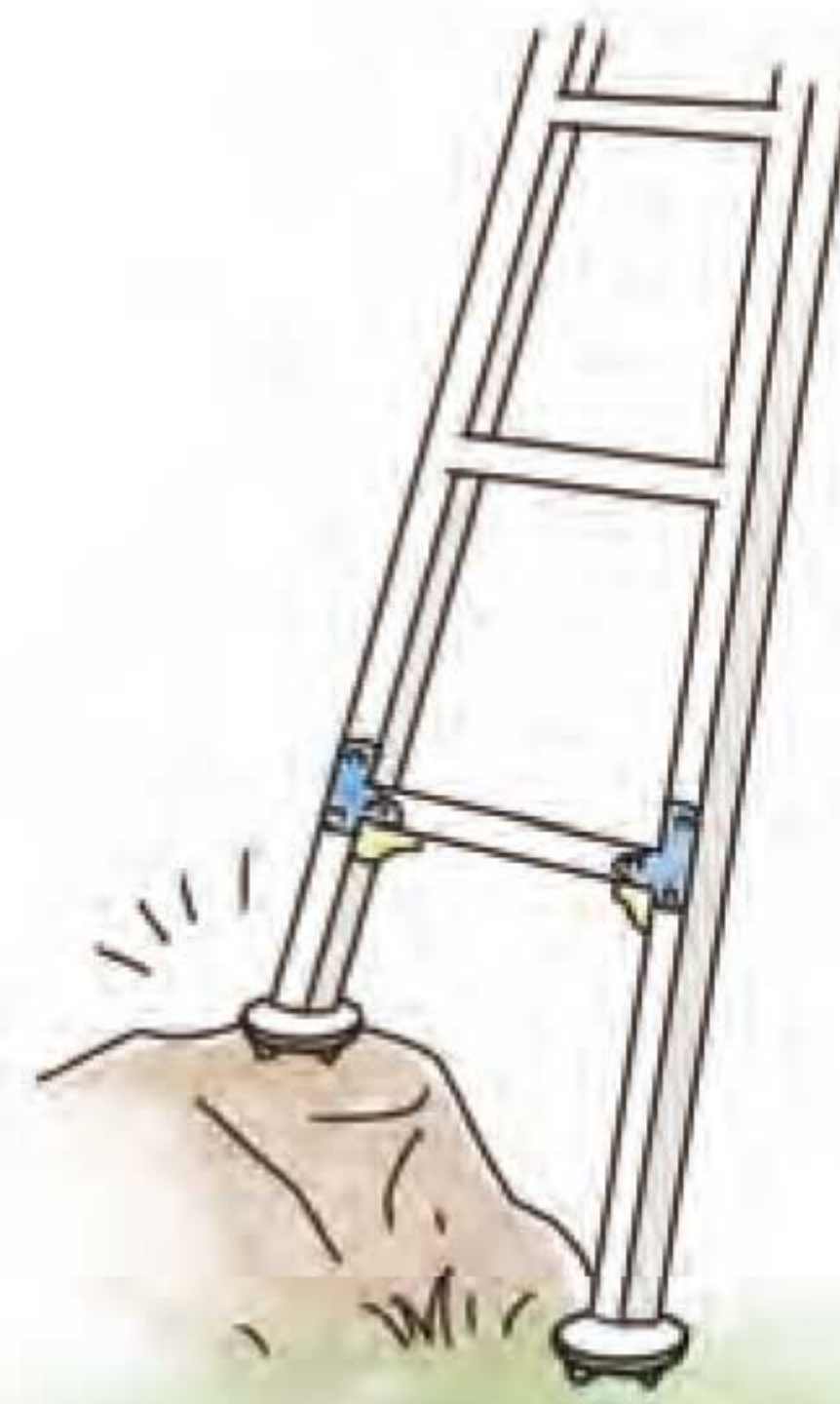
① 脚立は踏ざん幅の広いものを選ぶ

脚立の上で作業をする場合、幅が広いと疲れにくい



② 各脚の長さが変えられるものを選ぶ

平坦な農地はほとんどなく、微妙に長さを変えて安定に設置



③ 適切な高さの脚立を選ぶ

場面ごとに、必要に応じた長さのものを揃える

脚立作業は高所作業、必ずヘルメットの着用を